様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第１・２・３学年 技術分野	技術・726	技術・家庭（技術分野）
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　「Ａ材料と加工に関する技術」 　製品が設計された意図を生産者や消費者の立場になって話し合うことを通して、材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、生活の中で利用されている技術や製品を安全性・環境負荷など複数の観点を設けて評価し、問題点や将来望まれる技術を考えることを通して、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｂエネルギー変換に関する技術」 　電気自動車等が普及してきた理由や、今後の改良点を話し合うことを通して、エネルギー変換に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、エネルギー変換技術を利用した製品のライフサイクルを調べ、各段階のエネルギー変換技術の役割と影響を話し合うことを通して、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｃ生物育成に関する技術」 　イチゴの石垣栽培が発展している理由や今後の改良点を話し合うことを通して、生物育成に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、イネが気温の低い北海道でも多く収穫することができるようになった理由や今後の改良点について考えることを通して、生物育成に関する技術を適切に評価し活用する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｄ情報に関する技術」 　自分たちが目的地まで移動する際、情報を収集する手段の利点と問題点を話し合うことを通して、情報に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、ある家族の情報端末を使用した連絡方法から利点や問題点について話し合うことを通して、情報に関する技術を適切に評価し活用したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能を習得、活用、探求への対応 　生物育成に関する技術で学習したことをもとに、生活をよりよくするために、生物育成の技術を家庭生活の中に取り入れ、役立てる方法を考えるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　学習内容を 32 の題材（92 の小題材）で構成するとともに、各編について、4 つの内容に関する基礎的・基本的な知識を習得した後に、製作や実習を行い、技術の適切な評価・活用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がされている。 ○　内容の分量 　「Ａ材料と加工に関する技術」は 96 ページ、「Ｂエネルギー変換に関する技術」は 44 ページ、「Ｃ生物育成に関する技術」は 40 ページ、「Ｄ情報に関する技術」は 68 ページであり、総ページ数は 270 ページで、前回より約 3%増となっている。			
使用上の配慮等	○　各編の始めに、見開きで各内容に関する「技術の歴史」を設けたり、各見開きの下に、「豆知識」を設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　複数の実習例を示したり、「～みよう」マークで学習の課題を示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすい配色にするなど工夫するとともに、各ページの上段に、見出しを付けたり、実習等で安全に活動できるよう「安全」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、「再生可能なエネルギーの開発として幌延町の風力発電」など 8 箇所取り上げられている。 ○　学習項目の冒頭には「学習の目標」、学習の節目には「ふり返り」を設け、反省・自己評価をして学習内容の定着ができるように配慮されている。 ○　「情報モラル」や「情報セキュリティ」については、一か所で 12 ページ掲載し、分かりやすく整理しまとめている。			